



平和友好交流バスツアーin 北九州 報告書



長崎に投下された原子爆弾の第一投下目標地点は、福岡県北九州市の小倉陸軍造兵廠でした。平成 29 年 4 月、北九州市は、長崎原爆の犠牲者を慰霊してきた長崎の鐘が設置されている勝山公園を再整備しました。そこで、長崎原爆を別の視点から学び交流することで、より広く平和の大切さを発信し継承していくために北九州市を訪れました。



出会い～事前研修



■ 7月17日（日）、8月27日（日）

アイスブレイキングや原爆資料館見学による長崎原爆についての学習、さらに訪問する北九州市について学び、当日持参する鶴の制作など、研修を通して交流を深めました。



北九州市へ

■ 9月2日（土）



○出発式

田上市長からの激励を受けて出発しました。



○小倉城周辺

現地の大学生の方に案内をしてもらいながら見学しました。

小倉城や、陸軍第十二師団施設内門、戦地に送られ戻ってこなかった軍馬のための忠霊塔などを見学しました。



参加者の感想

戦時中、このあたりが軍事施設として使用されていたことを知り、小倉城の周辺が戦争と関わりのある場所だということに驚きました。



参加者の感想

小倉城の周辺には、陸軍第十二師団の施設の内門が残っていました。

第十二師団は騎兵部隊を持っていて、国内でも比較的珍しい師団だったため、軍馬がこの地から戦場へ送られていたのですが、多くの軍馬は国内に帰ってくることはなかったそうです。

戦地へ送られたのは多くの人だけでなく、多くの軍馬も送られて帰ってくるのがなかったと聞いてとても驚きました。

○平和友好交流の集い

1945年8月9日、マリアナ諸島を出発したB29「ボックスカー」は、午前9時頃に小倉に到着しました。天候不順のため小倉上空で三度巡回しましたが、目視投下できなかったため長崎に向かいました。

そして11時2分、長崎で原子爆弾がさく裂し、多くの市民が犠牲になりました。

現在は勝山公園と呼ばれるこの場所に、原爆犠牲者を慰霊する碑が建てられていましたが、長崎市の方角を向いて追悼したいという北九州市民の願いを受け、北九州市は今年の4月、この公園を再整備しました。

長崎市の方角を向いて追悼ができるようになったこの場所で、長崎市からの参加者と、北九州市の総務局長をはじめ、長崎市で夏に行った「ピースフォーラム」に参加した北九州市の生徒が参加して、長崎原爆の犠牲者と、北九州の空襲犠牲者を追悼しました。



司会をして・・・

「全員が気持ちを1つに、集いに臨めるような雰囲気を作ろう」という気持ちを持ちながら、また、戦争犠牲者の方々のご冥福を祈りながら、司会をしました。

長崎市・北九州市それぞれの代表学生の平和へのメッセージを聞いたり、2つの都市の代表生徒が献花や千羽鶴献納を行う姿を見たりする中で、「住んでいるところは違えども、2つの都市の若者が平和を願う気持ちは同じだ」ということに気づきました。



○北九州市長表敬

北九州市長を表敬訪問しました。

北九州市の北橋健治市長からは、北九州市と長崎市の関わりや、北九州市での平和への取り組みについてお話があり、八幡大空襲や戦時中の資料等を通して、原子爆弾以外のことについても学んで帰ってほしいとお言葉をいただきました。

団長の中村明俊長崎原爆資料館長より、長崎市長のメッセージを北橋市長へ届け、団員からも北橋市長へメッセージを渡しました。

また、長崎に派遣された、北九州市の平和使節団の市長への報告会も併せて行われました。



参加者の感想

一人一人との出会いが、友好の輪を広げるものとなっていると感じました。今回の学びをさらに深めて自分のものにするとともに、周囲にしっかりと発信していくという気持ちになりました。

○空襲体験講話

八幡大空襲を経験した藤江さんの貴重な体験講話を聞くことができました。



参加者の感想

戦争や空襲のおそろしさ、そして平和の大切さをあらためて感じることができました。毎日、勉強や食事ができることに感謝し、生活したいです。そして、もう戦争をくり返すことがないように、この講話で学んだことを、友達や家族、少しでも多くの人に伝えて、平和を広げていきたいです。

○戦時資料展示コーナー

戦時中の資料を展示している資料館を見学しました。



参加者の感想

小倉の展示コーナーでは、長崎とは違った、戦時中に日常として起きていたことを学びました。戦争の犠牲は広島と長崎だけではない、日本中がつらい日々を送ってきたことが分かりました。

現在では戦争の関心が薄れ、考える機会もなくなってきています。被爆地である長崎市民として今回のツアーに参加して戦争の悲惨さを改めて学ぶことができよかったです。

○官営八幡製鐵所旧本事務所

北九州市の担当職員の方の案内で、「明治日本の産業革命遺産」の「官営八幡製鐵所の旧本事務所」を展望スペースから見学しました。



参加者の感想

以前は外国に追いつこうとして発展していった日本でも今は外国よりも発展していたりするので、それに関わっていた官営八幡製鐵所は凄いなと思いました。

報告会

■10月28日(土)

原爆資料館で、報告会を行いました。



参加者の感想

今回の「平和友好交流バスツアー-in 北九州」に参加したことで、私達は、平和について何か1つでも感じたことがあったと思います。

私がとても印象に残った言葉は、北九州市長表敬時に併せて行われた、北九州市青少年ピースフォーラム派遣団員による報告の中で、北九州の小学校五年生の男の子が言った「平和は乱れやすく、崩れやすい」という言葉です。

現在世界では核兵器等を巡って色々な論争が生まれ、各国の平和に対する発言に注目が集まっています。

そういう中で戦争を体験した場所に集まった私たちにできることは何なのか、乱れやすく崩れやすい平和をどのように維持することができるのか、戦争という言葉が少しでも近くに存在する私たちが平和について考え、学んでいくことが大切だとこの活動に参加して感じました。